

コード	20201
作成年度	25年度

基本事業評価表

基本事業名称	快適な住宅・住環境の整備
--------	--------------

総合計画の位置付け	
政策名称	安全、便利、快適な生活環境づくり
施策名称	ゆとりある住宅・住環境の整備

課コード	119	関係課名	財産管理課
主管課名	建築課		

基本事業の目的

土地利用計画や道路建設計画等関連施策との連携を図りながら、地域の特性を活かした魅力ある生活空間の確保に努めます。また、高齢者や障害者等の活動を支え、すべての人々が安全で安心して暮らせるよう、ユニバーサルデザインに配慮したまちづくりの推進を目的とする。

基本事業の成果

成果指標名称 1	都市計画審議会開催	成果指標名称 2	
成果指標の積算根拠	開催回数÷開催計画数	成果指標の積算根拠	
目標達成年度	平成25年度	目標達成年度	
目標達成数値	2回/年	目標達成数値	

年		度		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
成果指標 1	目標 A	単位	回	2	2	2	2	2
	実績 B		回	1	1	1	1	
	達成率 B/A		%	50.0	50.0	50.0	50.0	
成果指標 2	目標 A	単位						
	実績 B							
	達成率 B/A		%					

1次評価	現状	都市計画審議会（委員15名）は、おおむね定期的に開催し、都市計画に関する町長の諮問に応じた調査・審議を行っている。現在、都市計画区域内で有川地区都市再生整備計画事業（事業期間H23～27年度）を、都市計画区域外で船崎地区街なみ環境整備事業（事業期間：H16～25年度）を継続して進めている。平成19年度に都市計画基礎調査を、平成20年度に都市計画区域変更（都市計画マスタープラン）業務を実施した。
	課題	事業推進にあたって、住民ニーズ及び事業の費用対効果を損ねることなく、計画の見直し、事業費の縮減を図る必要がある。
	改善	厳しい財政状況下において、重点箇所への集中投資、徹底したコスト縮減を図ることにより、事業効果の早期発現に努める。社会資本整備総合交付金を活用して、有川地区都市再生整備計画事業、船崎地区街なみ環境整備事業の推進に取り組む。

2次評価	船崎地区街なみ環境整備事業及び有川地区都市再生整備事業については、住民のニーズや特性を活かし、魅力ある生活空間の確保や快適に過ごせる街の機能を考慮しながら事業を進めていくこと。
------	--

3次評価 住民等の意見	
----------------	--

町の対応	
------	--

※3次評価は、住民等の意見があった場合にのみ、再度公表するものとする。

◆基本事業を構成する評価対象事業◆

番号	評価コード	評価対象事業名称	担当課	平成24年度 直接事業費	評価の方向性
1	202010107	今里地区埋立地整備事業	建築課	4,358千円	(途中) このまま事業を継続
2	202010201	有川地区都市再生整備計画事業	建築課	41,667千円	(途中) 事業内容を見直して継続
3	202010401	街なみ環境整備事業	建築課	5,921千円	(途中) このまま事業を継続
4	202010601	分譲地売払い促進事業	財産管理課	-	(途中) 事業内容を見直して継続
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
基本事業を構成する評価対象事業の合計事業費				51,946千円	